

～みんなの防災ネットワーク構築モデル事業～

まちの人たちといっしょに防災を学ぼう！
まちの人たちと防災の輪をつくろう！

豊橋市 富士見校区の取り組み

発表者
富士見校区防災委員会委員長
二河田昌幸



私たちの富士見校区



人口 8,244人
世帯数 2,842世帯

私たちの富士見校区



これまでの取り組み

「防災委員会」

毎年、防災訓練の実施、防災倉庫のチェック
かつて、図上訓練や啓発チラシも作成



これまでの取り組み

「女性防火クラブ」

「知っ得ママ知識」の回覧、防火教室、
普通救命講習会などを精力的に実施




これまでの取り組み

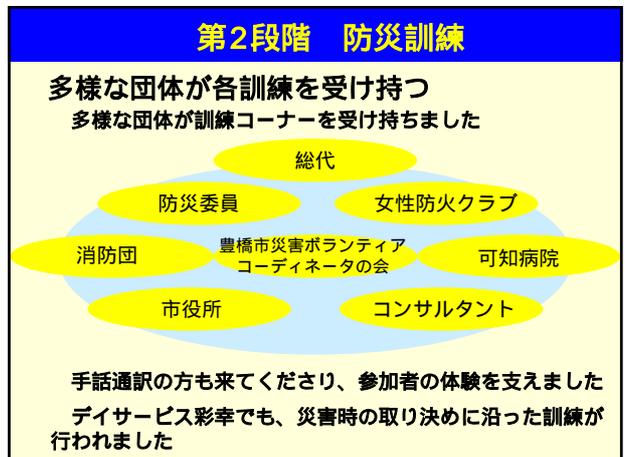
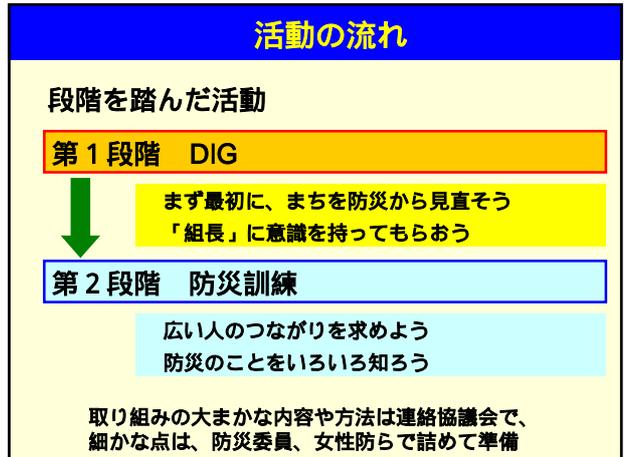
各家庭での家具の転倒防止

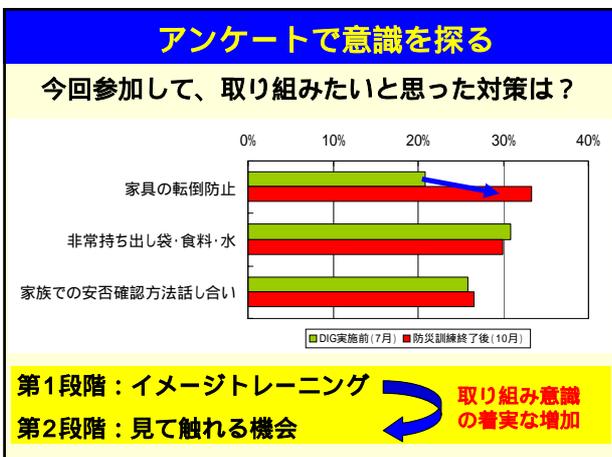
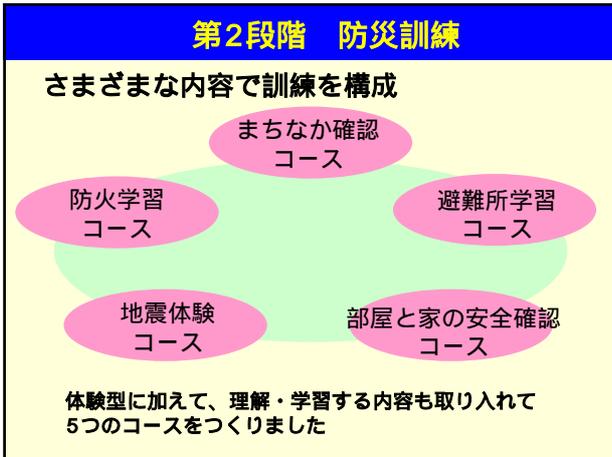
耐震性の高い住宅が多い中、次に取り組む必要

災害時要援護者への取り組み

これまでも各家庭への個別訪問重ねるも
なかなかうまくいかず

➡ **校区のこと、隣近所のことをまず
知ってもらう必要があるのでは？**





- ### 今回の取り組みを通じて考えたこと
- #### 参加の呼びかけ
- (1)学校の防災訓練とのタイアップができれば**
 - (2)日程調整**
他の行事との日程調整は重要
祭りなど「他の行事との組み合わせ」は一つのアイデア
 - (3)参加の念押し**
防災意識を起動させる段階では、改めて念押しが必要
声かけ役の組長の意識改革が必要

今回の取り組みを通じて考えたこと

ひとのネットワークづくり

(1)人の連携をつくる方法

今回は、「防災」から人を集めて取り組みを検討したが、他の機会を使って人を招き入れる方法もある

(2) 浸透させるには時間が必要

(3)無理やり人を呼び出すこと

DIGでは、組長を無理やり参加させたが盛り上がった
日曜日や、夕方開始の防災訓練も、家庭の女性には支持されないが、「制約」として受け入れられるかも